

田村貴昭議員、衆議院災害特別委員会で質問

政府「必要に応じた補助額の増額を検討」

7月10日に県内の日田市、中津市はじめ九州北部を襲った集中豪雨で、日田市小野地域の小鹿田焼の里も一時孤立し、大きな被害がでました。

日本共産党の田村貴昭衆議院議員と党日田市議団の大谷敏彰、日隈知重両市議は、7月15日現地調査にはいり住民の方々から要望を伺いました。

田村貴昭議員は、8月8日

に開かれた衆議院災害対策特別委員会の閉会中審査で、国の指定重要無形文化財である大分県日田市の小鹿田焼などの被害について、伝統の継承が断たれないよう支援の強化を要求。

鈴木敏之文部科学戦略官は「必要に応じた補助額の増額を検討している」と答えました。

さらに農業被害への思い



皿山で被害の状況を聞く田村議員(中央)



坂本組合長(右)から話を聞く田村議員(左)

県と市で最高200万円(3分の2)の補助

大分県は大雨で被害を受けた中津市・日田市の小規模事業者の復興を支援する補助制度(被災地域小規模事業者持続化支援事業費補助金)をつくりました。

対象者は、被災証明又は罹災証明の提出や事業計画の策定も必要です。

補助対象事業は、設備や施設の復旧を含む販路拡大や事業効率化の取組が対象です。(着手済の経費についても、今年の7月7日までに遡及可能で商工会議所や

商工会の支援を受けながら取組むこと)

補助対象事業の例は▼被災した製造機器等の復旧と合わせて行なう販路開拓▼店舗改装▼新商品を陳列するため棚の購入▼製造機器をより高性能の物に更新▼水害により流された冷蔵庫をより大容量の物に更新して業務効率化するなどです。

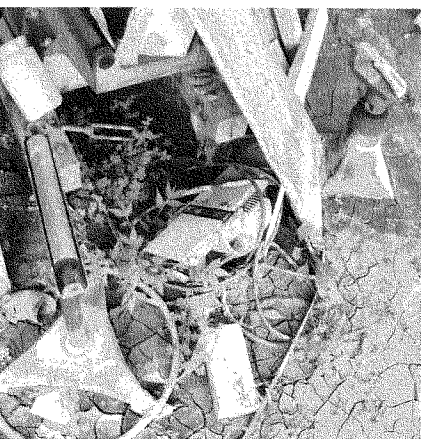
補助率は県と市合わせて3分の2で、補助額の上限は市と県合計で200万円。公募の期間は8月10日か

ら9月29日。

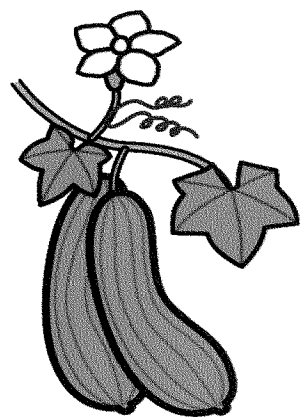
日田市での事業説明会

8月28日

- ①時間午後4時から5時半
天ヶ瀬振興局別館3階
- ②時間午後6時半から8時
日田市役所7階中会議室



被災した工場の道具類



被災地の小規模事業者支援

小鹿田焼など災害復旧の支援を